

元気はつつ好プレー！ グラウンド・ゴルフ交流大会



大会を終えて和気あいあいと記念撮影。はつつとスポーツを楽しむ姿、見習いたいですね。

7月16日、第11回『村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会』兼第19回『飯館村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会』が、「いいたてスポーツ公園」陸上競技場で開催され、41人が特設コース（8ホール）で3回ずつプレーし順位を競いました。熱戦の結果、男子の部は佐藤次雄さん（八木沢・芦原）、女子の部は杉浦オナスさん（伊丹沢）が優勝しました。杉浦さんは女子の部最高齢の88歳。男子の部の最高齢は長谷川利治さん（前田）の90歳で、元気なプレーが輝いていました。

佐須地区と比曽地区で 郵便ポストの取集を再開

7月4日、佐須地区と比曽地区で郵便ポストの取集が再開され、杉岡村長、乙坂覚（おとさかさ）とる）福島中央郵便局長が現地であいさつし、地区の皆さんと新たな一歩を喜びました。

佐須地区では菅野宗夫区長が「ポストをよき友として活用したい」と区民に宛てたハガキを投函。比曽地区では菅野義人区長が「大切な一歩を地区の皆さんと喜びたい」と家族に宛てた手紙を投函しました。この再開により、村内で稼働する郵便ポストは合わせて8か所となりました。



佐須地区のポストは佐須公民館の敷地内に移設し取集を再開。



比曽地区は震災前と同じ場所に新調。「ここで出せると助かるね」。

株式会社ダイサンの畑で 女子野球選手が野菜を収穫



熱心にミニトマトを収穫する、女子野球チーム『はつかいちサンブレイズ』の西山選手（左）と和田選手。

7月19日から21日、広島県にある女子硬式野球の企業チーム『はつかいちサンブレイズ』の西山小春選手と和田菜由乃選手が、飯館村で野菜の収穫作業を行いました。収穫したのは、株式会社ダイサン（前田・八和木／本社：広島県）が栽培するインゲンとミニトマト。同社は、飯館村の農産物をイベントの際に販売するなど、村との交流を続けています。2人は収穫中も終始笑顔で、「とっても楽しい!」「大きくて美味しそう!」などと、充実感に満ちた表情で作業に取り組んでいました。

『社会を明るくする運動』で 犯罪や非行のない地域社会へ

7月1日、飯館村人権擁護委員が役場を訪れ、『第72回社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式』が行われました。『社会を明るくする運動』とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

式では、『社会を明るくする運動』の推進とともに、一人ひとりが生きがいをもち、生きがいを感じるふるさとづくりなどについて、意見交換を行いました。



左から多田宏さん（宮内）、杉浦正子さん（伊丹沢）、石井せんさん（白石）、杉岡村長。

飯館村長杯をかけて初開催 パークゴルフ大会でわくわく!



親しい仲間と楽しむ大会です。右の写真は第1回の村長杯を獲得した高野さん（右）と佐藤さん。



7月24日、「いいたてパークゴルフ場」で、第1回『飯館村長杯パークゴルフ大会』が開催されました。開会式では杉岡村長が、日頃の取り組みを讃え「プレーを楽しんでください」と開幕を宣言。出場者50人が、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。〈大会結果〉男子の部：優勝・高野孝一さん（前田・八和木）、準優勝・佐野幸正さん（前田・八和木）、第3位・渡邊守男さん（小宮）／女子の部：優勝・佐藤千代美さん（村学童保育指導員）、準優勝・北原澄子さん（宮内）、第3位・北山文子さん（飯樋町）

更生保護女性会と保護司会が 学園で朝のあいさつ運動

7月14日、飯館村更生保護女性会（杉浦正子会長／伊丹沢）と飯館村保護司会（石井せん会長／白石）の皆さんが、「いいたて希望の里学園」で朝のあいさつ運動を行いました。当日は、12人の方が学園の昇降口に立ち、登校して来る子どもたちをにこやかに迎え、「おはようございます」「元気でいってらっしゃい」と一人ひとりに声をかけました。子どもたちは、大勢の出迎えに少しはにかみながら、「おはようございます」「いってきます」とあいさつを交わし、笑顔で校舎に入っていました。



優しい眼差しで「みんな孫（と同じに思える）よね」と両会の皆さん。微笑ましいやりとりが続きました。